

シラバス（改訂版）

授業科目名	情報システム演習 A (Information System Practice A)				
担当教員(所属)	鈴木克明(ソフトウェア情報学科)				
教育課程	コース科目・情報システム				
開講年次	2 年後期				
授業形態	演習	単位数	2	必修・選択	選択科目
資格対応	高等学校教諭一種免許状(情報)				
授業の目標	・教育エンジニアの基礎を身につけ、さらに近づきたいと思うようになる。 ・自己選択・自己責任の原則に基づいて、主体的に学びを進められるようになる。 ・自己の学びを通して、学習支援の工夫のいろいろを体験的に知る。 (情報システム演習 A・B・C を通して達成する目標である) この授業は、学部教育目標の「情報システムに関する技術の理解」(IS-A4)の「確率・統計の知識と統計処理の応用」(IS-A4-4)と「自分の専門とする学習領域に関する知識と応用力」(IS-A4-5)に対応する。				
目標の具体的な項目	1. 教材開発の手法を理解し、自分の教材に適用できるようになる。 2. Linux サーバを構築できるようになる。 3. 小規模の Web システムを開発できるようになる。 4. システム設計書が書けるようになる。				
授業の計画	本演習は、自学自習教材を利用し、自分のペースで学習していくものである。課題をどのように進めるのかの計画書を作成し、計画通りに進んでいるかを中間報告にて報告する。各課題については、終了するたびにプロクターにチェックを受ける。最終的には、演習の成果すべてまとめたポートフォリオの作成と成果発表を行う。 ・オリエンテーション(初回) ・中間報告1～3(11、12、1月) ・成果発表会(自己アピールプレゼンテーション;2月中旬) ・ポートフォリオ提出(2月中旬) 課題: (1)教材開発の基礎を自学自習テキストで学ぶ。(10回) 学習目標、テストの作成、課題分析、指導方略、教材作成、形成的評価、教材改善 教材企画書、教材パッケージ、教材作成報告書 (2)教育SEの基礎をネットワーク管理者研修で学ぶ(10回) Linux によるサーバ構築を行う。1人1台のノートパソコンを貸与する。 (3)Web システム開発基礎(10回) 提示された要求を満たす Web システムを1つ開発する。				
テキストおよび参考書	テキスト:鈴木克明(2002)「教材設計マニュアル」北大路書房 アイティーブースト(2004)『はじめての Fedora Core 3 Linux サーバ構築編』秀和システム 参考書 :必要に応じて紹介する。				
授業の形式	自主的に進める演習を主とし、進捗状況を報告する。				
成績評価の方法	以下のすべてを満たせば単位を認定する。 ・計画書を提出し、承認を得ていること。 ・中間報告(3回)で報告していること。 ・すべての課題に計画書通りに合格していること。 ・課題の内容がすべて含まれたポートフォリオを提出していること。 ・成果発表会で学習成果をアピールできていること。 なお、各課題の合格基準は以下のようになる。 ・教材開発は、テキストの内容に関する3回のテストに合格し、指定した内容のすべてが含まれた教材作成報告書を提出していること(目標1)。 ・教育SEの基礎をネットワーク管理者研修で学ぶは、全10回の課題すべてに合格すること。(目標2) ・Web システム開発の基礎は、プログラミングに関する全5回の課題すべてに合格するとともに、要求を満たしたシステムを開発していること(目標3)。システム設計書を作成し、承認を得ていること(目標4)。				
履修に当たっての留意点	ソフトウェア演習 A・B・C が先修要件となる				
備考					